

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
① 学校行事の活発化を図り、学校教育目標を目指した生徒活動の展開	B	生徒の望ましい成長に向けての指導体制を再整備する必要がある。	PDCAサイクルを生かして、指導体制の見直し・改善を図る。	プロ意識をもち、引き出しをたくさんもった魅力ある教員でいられるように努力をして欲しい。
2 地域・保護者との連携を図った教育活動の展開	C	また、一層保護者との連携を図る必要がある。	普段から生徒に関する情報のやりとりを密に行い、協力を得ながら教育活動を推進する。	電話で済むものと直接顔を合わせて話をするものの区別をしっかりとするとよい。
3 生徒の望ましい伸長に向けての教育実践活動の充実	B	行事を通して生徒は成長している点が見られる。生徒が主体的に取り組めるような行事となるように努めたい。	生徒会活動や生徒が中心となり進める学校行事を推進する。	視野を広げて、教員の視点からだけではなく、世間一般からという視点も身に付けて欲しい。 キャリア教育を一層充実させ、目的意識を醸成して欲しい。
II 保護者や地域との連携に努める				
① HPや学校だより等を通して、保護者や地域に開かれた学校づくり	B	HPの更新や学校だよりの発行による開かれた学校づくりに努めている。家庭教育学級講演会は保護者に好評であった。参加者数については、課題が残った。	保護者・地域にとって魅力ある情報になるように一層努める。 魅力のある講演であることをPRして、より多くの保護者に参加してもらえよう呼びかける。	学識経験者や著名人だけでなく、がんばっている先輩など身近な人の話を聞くことも一つの方法か。
2 PTA活動や学年PTA活動の充実	B			
III 確かな学力の育成に努める				
① 単位時間のねらいを明確にし、ノート指導の充実を図った授業の展開	B	ねらいや活動が分かっていることについては、生徒の取り組みもよい。	同一教科内での相互の授業参観による指導力の向上に取り組む。	自分の力に合った内容を選択できるような授業(習熟度別)なども積極的に取り入れて欲しい。
2 保護者との連携を図った家庭学習の充実	C	校内研修を通して、課題の確認をし、改善策を立案し取り組んでいるが、成果には結びついていない。授業力の向上に努めたい。	PDCAサイクルをスモールステップで実施しながら、改善に取り組む。	学ぶ意義についても教えて欲しい。 生徒を引きつける魅力のある授業を展開するよう努力して欲しい。
3 学力(標準化テストの点数)向上への指導に努力し、基礎学力の充実	C			
IV 豊かな心の醸成に努める				
① 「あいさつ運動」の徹底を図り、「あいさつ日本一」の実践	B	生徒会主催であいさつ運動を展開しているが、あいさつ、返事とももう一つの生徒が多い。	あいさつや返事の意義について、改めて指導をしていくことも同時に進める。 教員の率先垂範も。	人間関係が深まるとあいさつができるようになる。 こういう面での努力をお願いしたい。
2 生徒の「がんばり」や「思いやりの心」など豊かな心の育成	C	道徳の時間を要として豊かな心の育成に努めているが、十分ではない。	規範意識の醸成も含めて道徳の時間を要として、全教育活動を通して推進する。 マイ・チャレンジ活動で地域の方の協力も得ながら補完していく。	
3 問題行動や不登校傾向生徒への対応の充実	C	問題行動や不登校傾向生徒の対応について、全職員でという体	生徒指導の機能を生かし、指導する部分と毅然とした対応をとる部分とを区別	子どもの気持ちを酌み取りながら、心に響く話がで

		制で取り組んだが、十分効果が上がったとはいえない。	しながら対応する。	きるようにする。
V 健やかな体の育成に努める		ゲームやソーシャルネットワークに夢中になり睡眠不足の生徒も見られる。また、ソーシャルネットワークの使用で人間関係を崩す事例も見られる。このため、講演会や学級活動で指導をしているがなかなか後を絶たない。	保護者の協力も得ながら、繰り返し指導を進めていく。	
① 生徒の心身の健康を図るため生徒指導・保健指導の充実	B			
2 部活動において生徒の実態に即した活動を展開する中での基礎体力向上	C	一斉部活動や校内長距離走大会を実施し、持久力の向上に取り組んできたが、基礎体力の向上に結びついたとはいえない。	部活動を通し、苦手なことに取り組む必要性を感じさせながら基礎体力の向上につなげたい。	